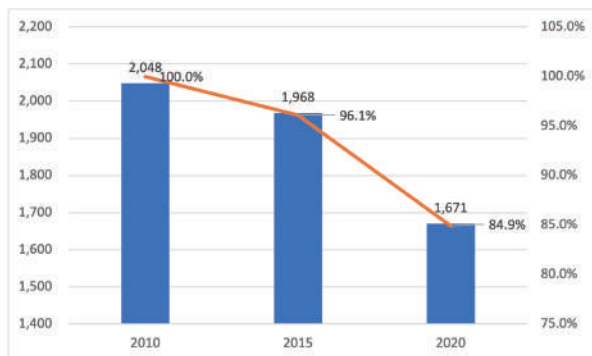


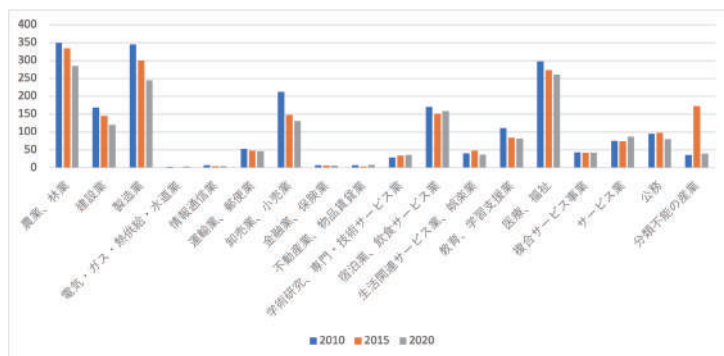
2025 年度定時総会を開催しました

5 月 26 日、2025 年度（一社）南丹市美山観光まちづくり協会定時総会を開催しました。100 名（議決権行使書、委任状提出者含む）が出席し、全ての議案が承認されました。

美山町労働従事者数



美山町業種別労働従事者数



（参考：「農林水産省：地域の農業を見て・知って・活かす DB」）

2022 年度に発表された国勢調査結果によると、この 10 年間で町内の労働従事者数は 15% 減少し、宿泊・飲食業・サービス業以外の産業は軒並み減少しています。観光の地域雇用における重要性を改めて実感しています。

当協会は今後も地域内事業者と連携し、地域外からの消費を生み出すことで、地域経済循環の促進と持続可能な観光地経営に取り組みます。また、かやぶきの里に象徴される里山の文化や自然など、地域の魅力を活かした観光振興を南丹市観光協会と連携して進めていきます。特に、以下 2 点に重点を置きます。

1. 美山観光ビジョンの再定義（来年度からの 5 年間の観光方針を策定）
2. 安定財源確保に向けた計画の策定（地域経済の循環と当協会の持続性の両立を図ります）

取り組みにあたっては、皆様のご意見やご協力がこれまで以上に必要です。引き続きよろしくお願いいたします。



サステナブルツーリズムって？ 美山と観光のこれから

2024 年の訪日外国人数は約 3,687 万人となり、2019 年（約 3,188 万人）を上回って歴代最高を記録しました。こうした観光客の回帰は美山にも恩恵をもたらす一方、私有地への立ち入りや過剰な混雑など、地域住民の皆様の不安やご意見も少しずつ表面化してきています。

全国的にも同様の課題を抱える地域は多く、たとえば岐阜県白川郷では観光客による無断立ち入りや混雑への対応として、マナー冊子や案内表示の整備が進められ、北海道美瑛町では、農地に立ち入らないよう“畑看板”で農家の思いを伝える取り組みなど、観光客との間に理解と敬意を育む工夫が行われています。それらに共通しているのは、地域の暮らしや景観を守りながら、観光とうまく付き合っていくという前向きな姿勢です。

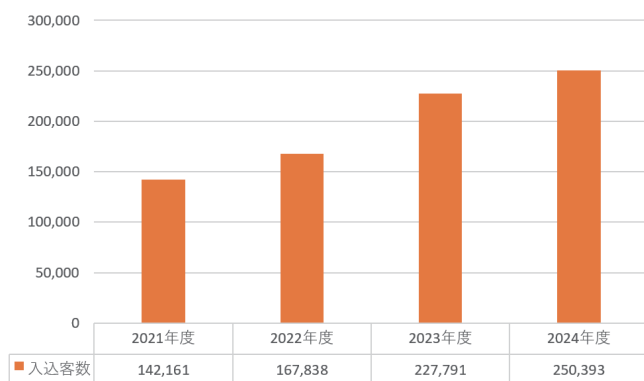
これらは「サステナブルツーリズム（持続可能な観光）」という考え方に基づき、自然環境や暮らしを守りながら観光を続けていくための取り組みです。さらに近年注目される「レスポンシブルツーリズム（責任ある観光）」の視点では、観光客自身にも地域のルールを尊重してもらうことで、地域住民と観光客の双方にとって心地よい環境づくりを実現します。

観光が地域の負担とならず、むしろ「地域の魅力を育むチカラ」へと変わるよう、当協会としてもこれらの取り組みに積極的に関与し、地域住民の皆さまと観光客の双方が安心して過ごせる、美山ならではの観光地域づくりを目指してまいります。

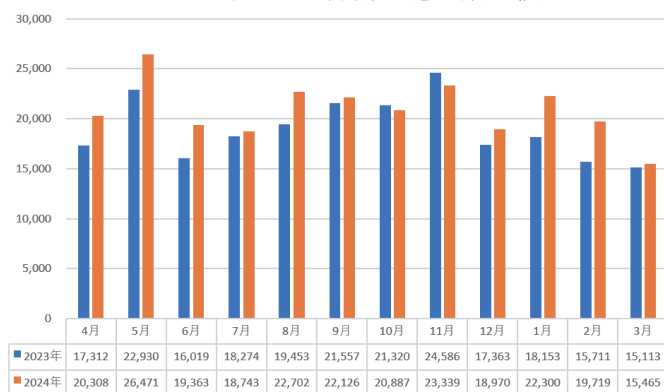


2024 年度かやぶきの里観光入込客数 調査結果

かやぶきの里 年度別入込客数比較



かやぶきの里 月別入込客数比較



2021 年にかやぶきの里に「人数カウンター」を設置して以来、当協会では定期的に観光入込客数の調査を行っています。コロナ禍以降、かやぶきの里の観光客入込数は年々回復・増加しており、2021 年度の約 14 万人から、2024 年度には約 25 万人と、3 年間でおよそ 1.7 倍に増加しました。

月別のデータを見ると、春から秋にかけて安定して多くの観光客が訪れているほか、2023 年度と比べて 5 月（約 3,540 人増）、6 月（約 3,340 人増）、8 月（約 3,250 人増）の伸び幅が大きかったことが分かります。また、1 月と 2 月も前年度より約 4,000 人ずつ増加しており、これはライトアップイベント「かやぶきの里雪灯廊」の集客効果があらためて現れた結果と考えられます。年間を通じて来訪者数は増加しており、とくに連休やイベント時の集客が顕著でした。

訪日教育旅行の受入促進 台湾現地セミナー・個別相談会に参加しました



6 月 10 日～ 11 日に台湾の台北および高雄の 2 都市で開催された日本政府観光局主催「訪日教育旅行促進事業 現地セミナー・個別相談会」に参加しました。現地の小学校から高校まで約 290 校の教員が参加し、美山での教育旅行に関心のある教員の方々に向けて、教育民泊や体験内容、モデル行程などを紹介しました。すでに美山での実施を検討している学校からは具体的なお相談もいただきました。

昨年度、台湾から過去最多となる 22 校・911 名の児童生徒を受け入れ、美山の教育民泊が高い評価をいただいています。こうした実績をもとに、今後も多くの学校にご来訪いただけるよう、関係機関と連携しながら丁寧なプロモーション活動を行っていきます。

法人正会員対象 プロカメラマンによる撮影会を実施しました

5 月 15 日と 6 月 2 日の 2 日間、当協会法人正会員を対象にプロカメラマンによる撮影会を実施しました。本撮影会は、会員施設の多彩な魅力を写真を通じて引き出し、町全体の写真クオリティを向上させることで、美山を旅先として選んでもらうきっかけを広げることを目的としています。

今回は撮影希望の施設を訪問し、客室や料理、アメニティなど、施設の魅力が最もよく伝わる、現地ならではの撮影に特化しました。これにより、各施設の個性や魅力をより鮮明に表現できる素材が揃い、会員様独自の販促活動はもちろん、当協会の観光情報ウェブサイト「美山ナビ」や SNS での情報発信にも順次活用していく予定です。

こうした取り組みを重ねながら、美山の魅力が、より多くの人の目に触れる機会を広げてまいります。

